

2023年度 環境経営レポート

対象期間

【2023年4月～2024年3月】



本社



伊奈平工場



入間工場



車両基地



瑞穂積保



あきる野積保



KEEP CLEAN 廃棄物にお困りの方はお電話下さい!!

0120-5383-50

比留間運送株式会社

発行日：2024年7月2日

（2025年1月15日 修正版）

比留間運送株式会社

目 次

1. 組織の概要	1
2. 許可内容一覧	2~3
3. 車両一覧	4
4. 処理工程	5~7
5. 設備処理能力	8
6. 対象期間（認証・登録の対象組織）	9
7. 組織図と実施体制	10
8. 環境経営方針	11
9. 環境経営目標一覧	12
10. 環境経営計画一覧	13
11. 環境経営目標実績	14
12. 環境負荷量の実績	15
13. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 ..	16~18
14. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無 ..	19
15. 代表者による全体評価と見直しの結果	20

1. 組織の概要

(1) 社名及び代表者名

比留間運送株式会社
代表取締役 比留間 宏明

(2) 所在地

【本社】 東京都武蔵村山市中央2-18-3
【瑞穂車両基地】 東京都西多摩郡瑞穂町富士山栗原新田237-1
【伊奈平工場】 東京都武蔵村山市伊奈平3-25-5
【入間工場】 埼玉県入間市狭山台3-7-1
【瑞穂積替保管施設】 東京都西多摩郡瑞穂町富士山栗原新田237-1
【あきる野積替保管施設】 東京都あきる野市二宮375-1

(3) 事業内容

一般貨物運送業
一般廃棄物 収集運搬業・処分業（中間処理）
産業廃棄物 収集運搬業・処分業（中間処理）
解体工事事業
第一種フロン回収事業

(4) 事業の規模

創業：昭和28年10月1日
資本金：1,180万円
年商：2,772百万円（2023年4月～2024年3月）

	本社	車両基地	伊奈平工場 (解体部門含む)	入間工場	瑞穂積保	あきる野積保
従業員数(名)	42	22	23	5	4	2
敷地面積(m ²)	1422.56	2975.34	8328.26	2944.67	2891.00	1654.00
中間処理施設保管面積(m ²)			1920.55	763.90		
積替保管施設保管面積(m ²)			62.04		1140.70	444.56
積替保管施設保管上限量(m ³)			51.20		1420.40	824.50
産廃中間処理量(t)			33596.67	6421.55		
一廃中間処理量(t)			3304.59	392.19		
産廃収集運搬量(t)		8847.83				
事業系一廃収集運搬量(t)		4816.70				
家庭系一廃収集運搬量(t)	11368.45					
工事件数(件)			10			

(5) 環境経営責任者及び事務局

環境経営責任者：天沼 智弘
事務局：藤井 啓之

(2) 一般廃棄物許可一覧

自治体名	許可の有効期限	許可番号	業の区分	許可品目
武蔵村山市	令和05年04月01日 令和07年03月31日	第4号	収集運搬 (積替保管含む)	事業系一般廃棄物、特定家庭用機器再商品化法対象物
小平市	令和06年04月01日 令和08年03月31日	第9号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物(可燃・不燃ごみ)
東大和市	令和06年04月01日 令和08年03月31日	第7号	収集運搬 (積替保管除く)	一般廃棄物
八王子市	令和06年04月01日 令和08年03月31日	第90号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物(紙くず、木くず、厨芥)
西東京市	令和06年04月01日 令和08年03月31日	第4-24号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物
東久留米市	令和06年04月01日 令和08年03月31日	第14号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物(不燃ごみ、可燃ごみ)
羽村市	令和06年04月01日 令和08年03月31日	第13号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物 可燃ごみ(紙くず、木くず、厨芥)
昭島市	令和06年04月01日 令和08年03月31日	第93号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物(厨芥、紙屑、木屑)
国立市	令和06年04月01日 令和08年03月31日	第26号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系ごみ
小金井市	令和06年04月01日 令和08年03月31日	第125号	収集運搬 (積替保管除く)	一般廃棄物(ごみ)
東村山市	令和06年04月01日 令和08年03月31日	第10号	収集運搬 (積替保管除く)	一般廃棄物(ごみ)
日野市	令和06年04月01日 令和08年03月31日	第44号	収集運搬 (積替保管除く)	一般廃棄物(A類)
立川市	令和06年04月01日 令和08年03月31日	第21号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物
入間市	令和06年04月01日 令和08年03月31日	第12号	収集運搬 (積替保管含む)	ごみ(特定家庭用機器廃棄物を除く)
西多摩郡瑞穂町	令和06年06月22日 令和08年06月21日	第12-2号	収集運搬 (積替保管除く)	可燃ごみ(紙くず、木くず、厨芥)
調布市	令和04年08月05日 令和06年08月04日	第53号	収集運搬 (積替保管除く)	可燃性事業系一般廃棄物
西多摩郡日の出町	令和04年10月01日 令和06年09月30日	第7342号	収集運搬 (積替保管除く)	紙くず、木くず
清瀬市	令和05年04月01日 令和07年03月31日	第2号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物(紙くず、木くず、厨芥類)
あきる野市	令和05年04月01日 令和07年03月31日	第299号	収集運搬 (積替保管含む)	事業系一般廃棄物(可燃ごみ、不燃ごみ、食品残さ)、 積替保管については、木くず(剪定枝)に限る。
国分寺市	令和05年09月01日 令和07年08月31日	第25号	収集運搬 (積替保管除く)	厨芥類、紙屑、木屑、落ち葉等
福生市	令和05年09月01日 令和07年08月31日	第506号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物
青梅市	令和05年10月01日 令和07年09月30日	第23号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物(紙くず、木くず、厨芥類、廃プラスチック類)
府中市	令和05年10月20日 令和07年10月19日	第9号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物(可燃ごみ)
寄居町	令和04年03月01日 令和06年02月29日	第B2403BU003号	運搬 (荷卸しに限る)	生活系ごみ(処理できないごみ(その他のごみ)) 事業系ごみ(資源ごみ(紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、焼却灰))
檜原村	令和05年03月01日 令和07年02月28日	第3号	収集運搬 (積替保管除く)	可燃(プラスチック類、生ごみ、木質ごみ等)、資源
武蔵村山市	令和05年07月01日 令和07年06月30日	第1号	処分	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、生ごみ、空きかん、空きびん
入間市	令和06年04月01日 令和08年03月31日	第1号	処分	生ごみ、木くず

(3) その他許可一覧

許可名称	業の区分	許可番号	許可等の期限
産廃エキスパート	収集運搬	5-19-B0058	令和08年03月31日
産廃エキスパート	中間処理	5-19-C0068	令和08年03月31日
エコアクション21	-	009047	令和07年01月16日
再生事業者登録	再生	第139号	-
一般建設業許可	建設業	30都市建第224号	令和10年06月09日
第一種フロン回収業登録	フロン回収	19環都配 第144号	令和09年07月14日

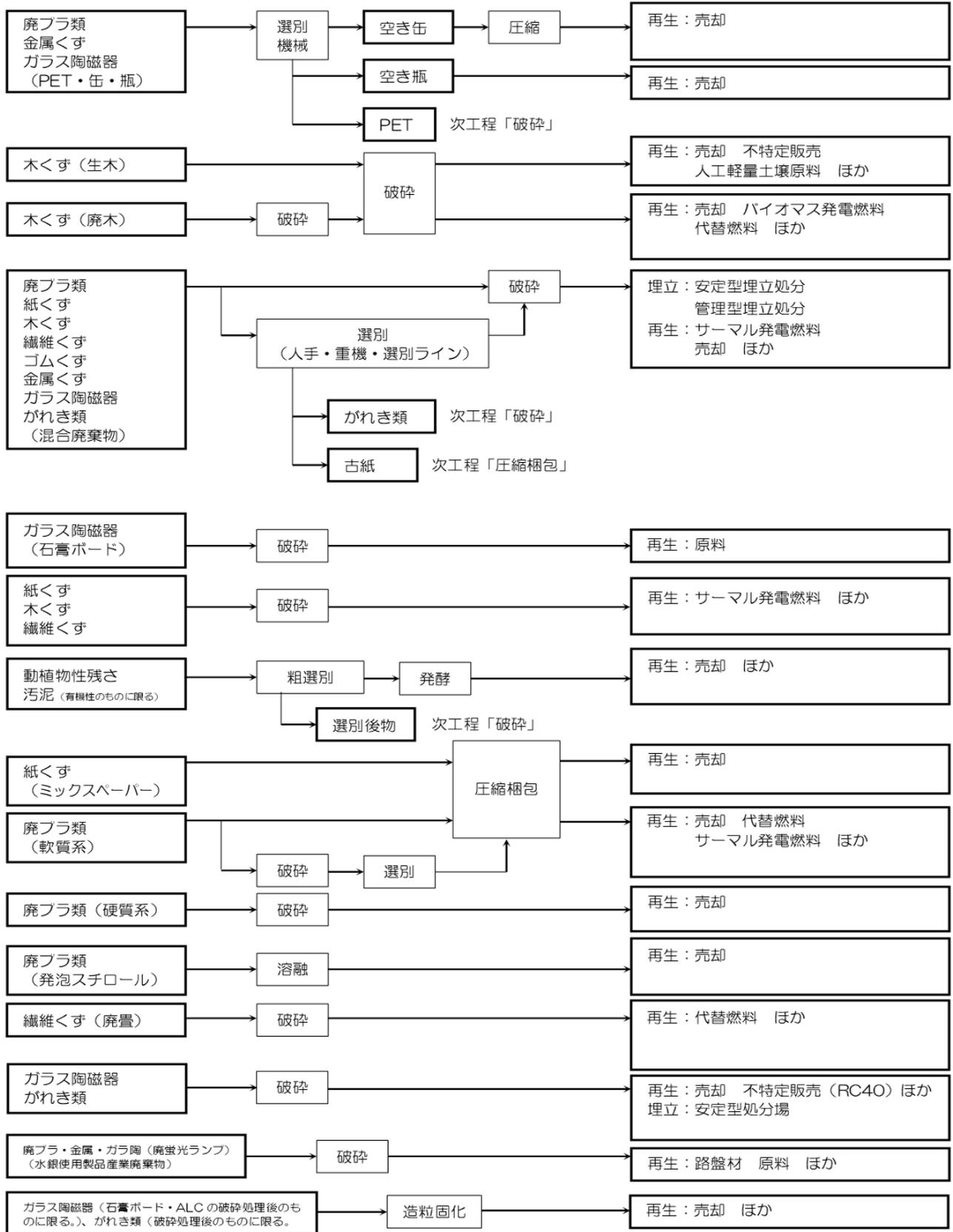
3. 車両一覧

全保有台数	55台
-------	-----

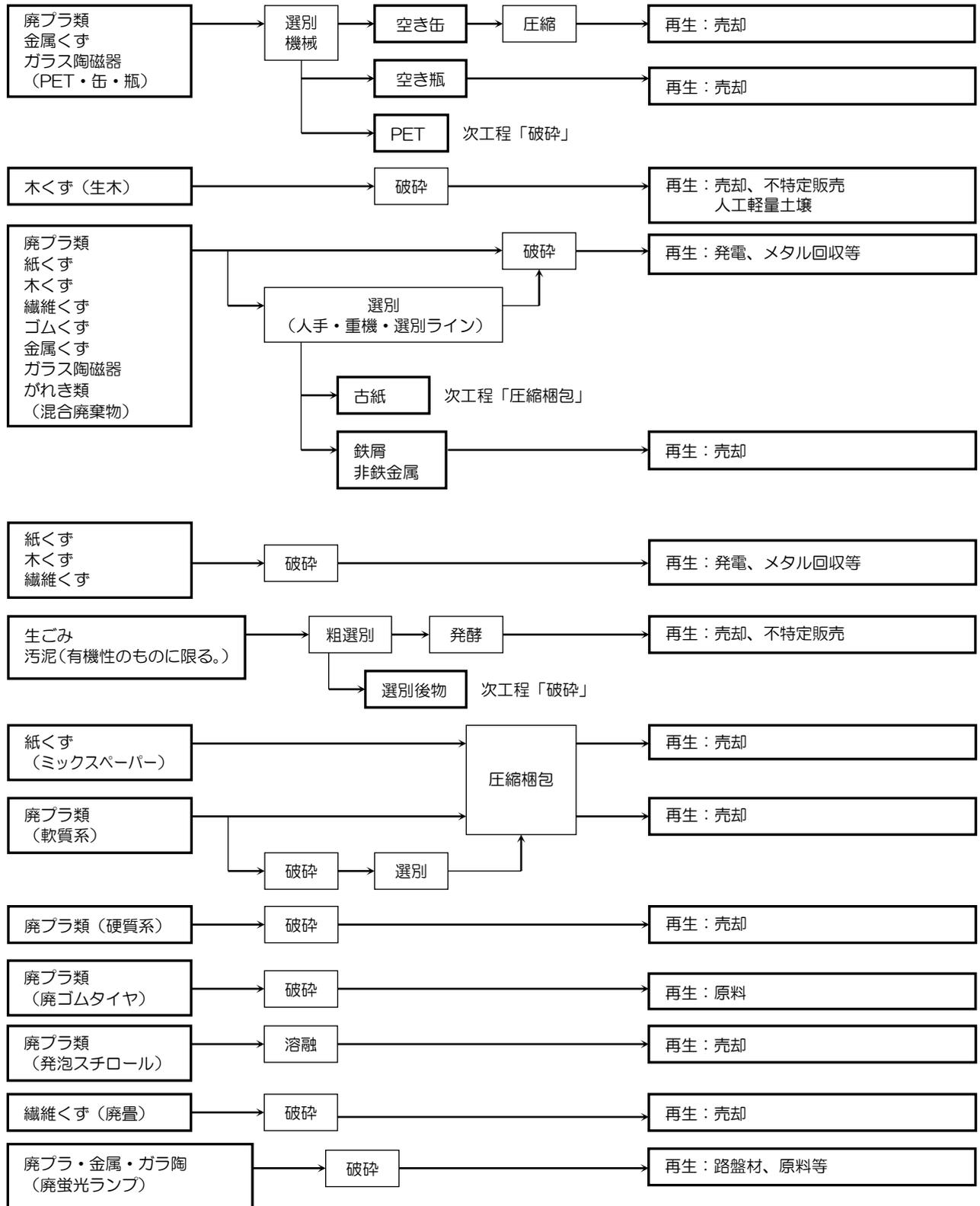
種類	台数	
フルトレーラー	2台	
コンテナ車	大型	2台
	8 t	4台
	4 t	8台
	3 t	2台
ダンプ車	大型	1台
	2 t	1台
塵芥車	4 t	1台
	3 t	22台
	2 t	4台
平ボディ車	大型	1台
	4 t	2台
	2 t	1台
	軽	2台
ユニック車	3t	1台
商用車	軽	1台

4. 処理工程

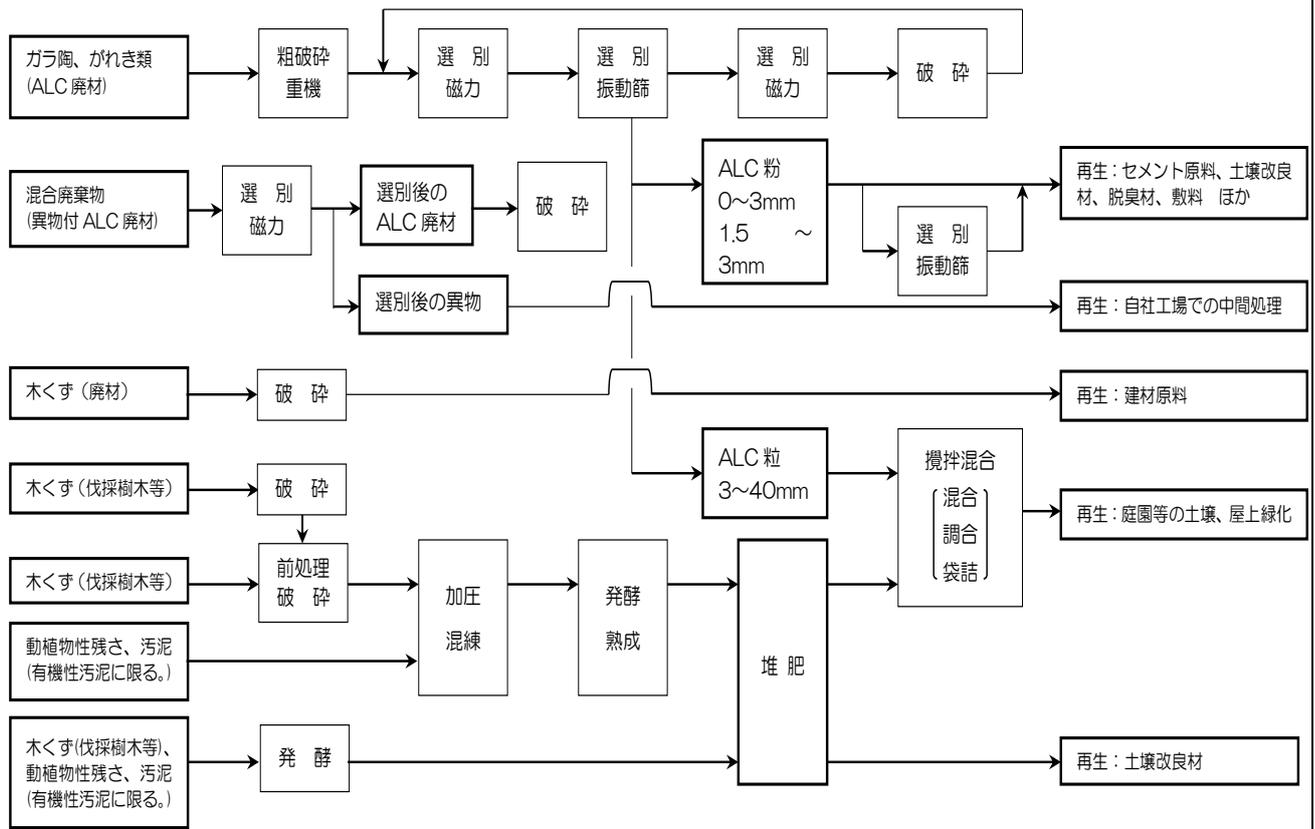
産業廃棄物処理フロー図（伊奈平工場）



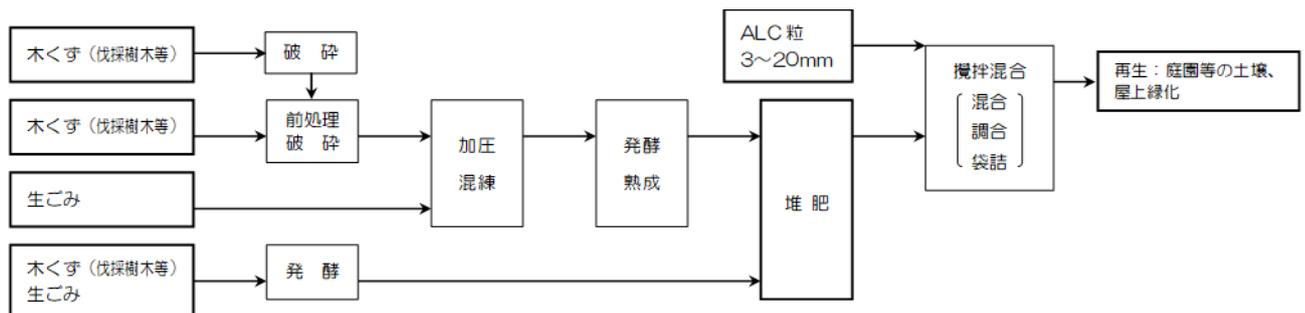
一般廃棄物処理フロー図（伊奈平工場）



産業廃棄物処理フロー図（入間工場）



一般廃棄物処理フロー図（入間工場）



※ 瑞穂積替保管施設・あきる野積替保管施設では、受け入れた産業廃棄物の選別、中間処理前の一次処理施設として伊奈平工場のリサイクル率アップに貢献しております。また、石綿含有産業廃棄物の受入施設としてその保管と契約最終処分場への運搬を行っております。

5. 設備処理能力一覧

施設種類		許可品目		処理能力
伊 奈 平 工 場	圧縮	産廃	金属くず	4.30 t/日
		一廃	空き缶	
	破碎	産廃 一廃	木くず	17.10 t/日
	破碎	産廃 一廃	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、 ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ゴムくず	53.50 t/日
	焼却炉	産廃	紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ	4.80 t/日
		一廃	紙くず、木くず、繊維くず、生ごみ	
	発酵	産廃	動植物性残さ、汚泥（有機性のものに限る）	3.50 t/日
		一廃	生ごみ、汚泥（有機性のものに限る）	
	破碎	産廃 一廃	廃プラスチック類、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず （水銀使用製品産業廃棄物を含む）	2.80 t/日
	圧縮・梱包	産廃	廃プラスチック類	180.00 t/日
		一廃	紙くず	166.80 t/日
	破碎	産廃 一廃	廃プラスチック類	6.30 t/日
	溶融	産廃 一廃	廃プラスチック類	2.40 t/日
	破碎	産廃	廃プラスチック類	48.00 t/日
		一廃	繊維くず	32.10 t/日
	圧縮・梱包	産廃	廃プラスチック類	24.30 t/日
一廃		繊維くず	17.20 t/日	
破碎	産廃	廃プラスチック類	44.70 t/日	
	一廃	繊維くず	32.30 t/日	
圧縮	産廃	金属くず	10.20 t/日	
	一廃	空き缶		
破碎	産廃	ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類	480.00 t/日	
破碎	産廃	木くず	186.40 t/日	
造粒固化	産廃	ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類	6.10 t/日	
入 間 工 場	破碎	産廃	ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず、 がれき類	360.00 t/日
	加圧混練・発酵	産廃	木くず（破碎後伐採樹木に限る）、動植物性残さ	5.84 t/日
		一廃	木くず（破碎後伐採樹木に限る）、生ごみ	
	発酵	産廃	木くず（破碎後伐採樹木に限る）、動植物性残さ	3.51 t/日
		一廃	木くず（破碎後伐採樹木に限る）、生ごみ	
	発酵	産廃	木くず（破碎後伐採樹木に限る）、動植物性残さ	3.51 t/日
		一廃	木くず（破碎後伐採樹木に限る）、生ごみ	
	発酵	産廃	木くず（破碎後伐採樹木に限る）、動植物性残さ	3.51 t/日
		一廃	木くず（破碎後伐採樹木に限る）、生ごみ	
	発酵	産廃	木くず（破碎後伐採樹木に限る）、動植物性残さ	3.51 t/日
一廃		木くず（破碎後伐採樹木に限る）、生ごみ		
破碎	産廃 一廃	木くず	9.52 t/日	
破碎	産廃	ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず、 がれき類	169.60 t/日	

6. 対象期間（認証・登録の対象組織）

(1) 登録組織名 : 比留間運送株式会社

(2) 対象事業所 : 本社

伊奈平工場

入間工場

瑞穂積替保管施設・車両基地

あきる野積替保管施設

(3) 対象とする活動 : 一般貨物運送業

一般廃棄物 収集運搬業・処分業（中間処理）

産業廃棄物 収集運搬業・処分業（中間処理）

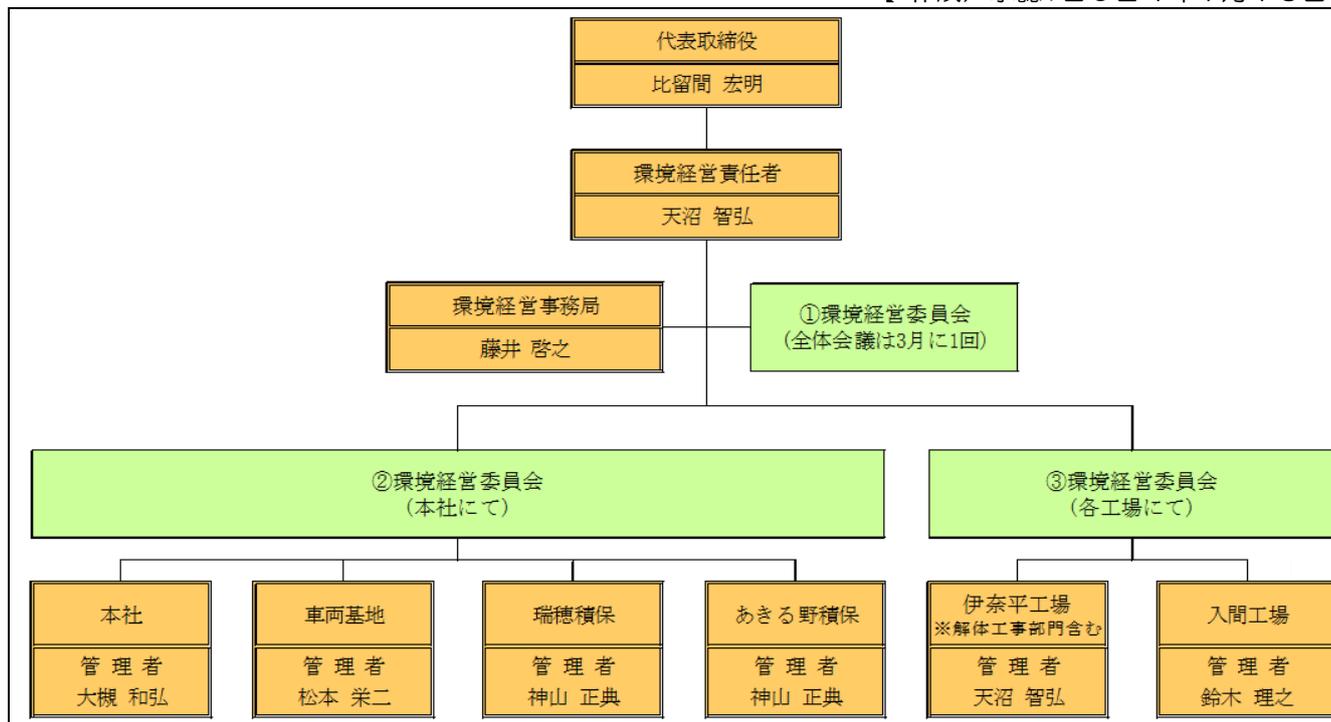
解体工事事業

第一種フロン回収事業



7. 組織図と実施体制

【作成/承認; 2024年1月16日】



組織体制	主要な業務
社長	<p>【比留間運送株式会社の環境マネジメントシステムに関する最高責任者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメントシステムの実施及び管理に不可欠な資源の提供をする。 経営における課題とチャンスの明確化をする。 環境経営方針を決定する。 環境経営責任者を任命し、環境経営委員会を通じて当社従業員全体に伝達する。 環境経営目標、環境経営活動、環境経営活動レポートを承認する。 エコアクション21の全体の評価と見直しを実施する。
環境経営責任者	<p>【環境経営システムに関する管理責任者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの要求事項を確立し、実施し、且つ維持する。 実施計画とその実績フォローシートを承認する。 環境経営システムの実績、運用状況を社長へ報告する。 環境経営方針策定の補佐、又は環境経営方針を周知する。 環境負荷の自己チェックと取組項目の自己チェックを承認する。 法規制等の調査、特定及び法規制一覧を承認する。 環境経営委員会の議長を担当する。 教育計画を承認し、実施する。 内部、外部とのコミュニケーションに対応する。
環境経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針、環境経営目標、実施計画等の環境経営システムに関する事項を審議する。 毎月サイトごとに実施、3月ごとに全体会議とする（前頁組織図を参照）
環境経営事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営委員が個々に立たした役割成果を取りまとめる。 定期的に環境負荷の自己チェックと取組項目の自己チェックの実施支援をする。 法規制等の調査、特定及び法規制一覧を作成、取りまとめる。 環境経営レポート原案を作成する。 文書管理（配付、原本）を行う。
各部門長	<ul style="list-style-type: none"> 各部門の環境経営計画を立て実施する。 自部門に必要な環境経営計画及び法規制、運用手順の教育をおこなう。 定期的に環境負荷の自己チェックと取組項目の自己チェックを実施する。

環境経営方針

《基本理念》

比留間運送株式会社は、「狭山丘陵と多摩川を擁した自然豊かなこの地の環境」を、そして広くは「かけがえのない地球環境」を健全な姿で後世に継承することが、人類の共通課題のひとつとして認識し、「ゼロ・エミッションへの限りない挑戦による、人と自然の最も理想的な関係の追求」を基本理念とします。

《基本方針》

比留間運送株式会社は廃棄物処理事業及びリサイクル事業が主体であることを踏まえて、以下の具体的な事項に基づき、当社すべての従業員による環境活動の推進、ならびに循環型社会の構築とその啓蒙活動を通じ、地域に密着したクリーン企業として地球環境と企業活動の調和を目指します。

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- 1) 電気・燃料等のエネルギー使用量を低減します。
- 2) 水の使用量を低減します。
- 3) 化学物質の管理を徹底します。
- 4) 本業に関する環境配慮活動を行います。
- 5) 廃棄物の排出量を削減します。
- 6) 再資源化率の向上を目指し、地域密着型の資源循環活動を推進します。

これらについて環境経営目標及び環境経営活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したその他の要求事項を順守します。

3. この環境経営方針は全従業員に周知徹底します。

4. 環境への取り組みを環境経営レポートとして取りまとめて公表します。

比留間運送株式会社
代表取締役 比留間宏明

制定：平成 11 年 02 月 26 日
改定 1：平成 12 年 07 月 13 日
改定 2：平成 13 年 05 月 24 日
改定 3：平成 15 年 05 月 06 日
改定 4：平成 24 年 03 月 30 日
改定 5：平成 24 年 11 月 27 日
改定 6：令和 02 年 04 月 01 日
改定 7：令和 02 年 06 月 11 日

9. 環境経営目標一覧



全事業所							
環境経営目標	単位	【基準年】	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
電気・燃料等のエネルギー使用量を低減します							
二酸化炭素排出量 (注1)	kg-CO ₂	2,820,619	2,681,766	2,662,409	2,635,785	2,660,383	2,633,779
購入電力	kwh	2,561,865	2,572,996	2,563,664	2,538,027	2,518,740	2,493,553
LPG	kg	315	292	289	286	283	280
軽油	ℓ	565,836	585,298	579,445	573,651	586,590	580,724
水の使用量を低減します							
上水	m ³	3,452	3,866	3,827	3,789	3,751	3,714
地下水	m ³	3,446	3,212	3,180	3,148	2,000	1,980
化学物質の管理を徹底します(注2)							
ダイオキシン類濃度の自主基準値の維持(年/1回自社測定) ※法基準値：10ng-TEQ/m ³ N	ng-TEQ/m ³ N	5	5	5	5	5	5
本業に関する環境配慮活動を行います							
設備・重機・車両の突発的故障件数を低減する	件	32件以内	18件以内	18件以内	18件以内	18件以内	18件以内
作業効率向上の改善事例件数	件	21件以上	29件以上	29件以上	24件以上	24件以上	24件以上
製品の出荷先からのクレーム件数0件を維持する	件	0	0	0	0	0	0
廃棄物の排出量を削減します							
事業所から出る廃棄物排出量を削減する	kg	8,470	6,152	6,090	7,020	7,020	7,020
再資源化率の向上を目指し、地域密着型の資源循環活動を推進します							
中間処理後の産業廃棄物リサイクル率	%	82	86	87	88	89	90
解体工事に伴う廃棄物再資源化率	%	90	90	90	90	90	90

(注1) 購入電力のCO₂排出係数は、東京電力の0.455kg-CO₂/kWh(2018年度実績(2019年8月公表))を用いた。

(注2) 伊奈平工場、焼却炉の排ガス中のダイオキシン類濃度を示す。

(注3) 事務所から排出された一般廃棄物は、全量再生利用。

(注4) 中間処理後の産業廃棄物リサイクル率は、処理後の搬出した量の最終所分場行きと再生利用行きの割合で算出。

(注5) 解体工事に伴う廃棄物再資源化率は、再資源化量と最終処分量の割合で算出。

10. 環境経営計画一覧

【 取組期間：2023年4月～2024年3月 】

環境経営目標	環境経営計画の具体的な取組	本社	車両基地	伊奈平工場	入間工場	瑞穂積保	あきる野積保	解体部門	進捗管理 及び記録
		大槻	松本	天沼	鈴木	神山	神山	天沼	
電気使用量の削減	照明の不必要な時・箇所を消灯	●	●	●	●	●	●		実施計画と実績 フォローシート
	空調の適温化	●	●	●	●	●	●		
	OA機器の不必要な時の電源OFF	●	●	●	●	●	●		
	設備の空運転の防止			●	●				
	空調機（フィルター等）の清掃					●	●		
	環境負荷低減の教育	●	●	●	●	●	●		教育記録
軽油使用量の削減	重機・車両のアイドリングストップ	●	●	●	●	●	●	●	実施計画と実績 フォローシート
	積み込み作業時のアイドリングストップ	●	●						
	ハッカー車の無駄まき抑制	●	●						
	急発進・急停車の抑制	●	●						
	前年度の車両燃費データと比べた分析	●	●						
	環境負荷低減の教育・エコ運転の教育	●	●	●	●	●	●	●	教育記録
水使用量の削減	散水時の節水			●	●	●	●	●	実施計画と実績 フォローシート
	洗車時の節水	●	●	●	●	●	●		
	環境負荷低減の教育	●	●	●	●	●	●	●	教育記録
化学物質の管理 (注1)	自主基準値5ng-TEQ/m ³ Nを維持			●					
本業に関する 環境配慮活動	製品の状態の確認			●	●				実施計画と実績 フォローシート
	製品納品先からのクレーム発生件数の0件維持			●	●				
	設備・重機・車両の突発的故障を低減する	●	●	●	●	●	●		
	設備・重機・車両の日常・定期点検の実施	●	●	●	●	●	●		実施計画と実績 フォローシート
	各部署、決められた目標件数以上の業務改善を行う	●	●	●	●	●	●		
廃棄物排出量の削減	各部署、決められた目標値以下のごみの排出量を維持・削減	●	●	●	●	●	●		
再資源化率の向上	中間処理後の産業廃棄物リサイクル率89%以上の達成			●					実施計画と実績 フォローシート
	リサイクル出来る廃棄物の選別状況の確認			●		●	●	●	
	積み込作業時のリサイクル出来る廃棄物の仕分積み込状況の確認		●						
	解体工事に伴う廃棄物再資源化率90%以上を維持							●	

(注1) 伊奈平工場、焼却炉の排ガス中のダイオキシン類濃度を示す。

※●は、環境活動の取組の実施を示す。

11. 環境経営目標の実績



本社



車両基地



伊奈平工場



入間工場



瑞穂積保



あきる野積保

全事業所

環境経営目標	単位	2023年度 目標値	2023年度 実績値	評価
電気・燃料等のエネルギー使用量を低減します				
二酸化炭素排出量 (注1)	kg-CO ₂	2,660,383	2,069,158	○ -591,225
購入電力	kwh	2,518,740	1,834,393	○ -684,347
LPG	kg	283	188	○ -95
軽油	ℓ	586,590	478,273	○ -108,317
水の使用量を低減します				
上水	m ³	3,751	2,996	○ -755
地下水	m ³	2,000	1,180	○ -820
化学物質の管理を徹底します(注2)				
ダイオキシン類濃度の自主基準値の維持(年/1回自社測定) ※法基準値：10ng-TEQ/m ³ N	ng-TEQ/m ³ N	5	—	—
本業に関する環境配慮活動を行う				
設備・重機・車両の突発的故障件数を低減する	件	18件以内	4	○
作業効率向上の改善事例件数	件	24件以上	30	○
製品の出荷先からのクレーム件数0件を維持する	件	0	0	○
廃棄物の排出量を削減します				
事業所から出る廃棄物排出量を削減する	kg	7,020	6,781	○ -239
再資源化率の向上を目指し、地域密着型の資源循環活動を推進します				
中間処理後の産業廃棄物リサイクル率	%	89.00	93.93	○
解体工事に伴う廃棄物再資源化率	%	90.00	96.03	○

(注1) 購入電力のCO₂排出係数は、東京電力の0.455kg-CO₂/kWh(2018年度実績(2019年8月公表))を用いた。

(注2) 伊奈平工場、焼却炉の排ガス中のダイオキシン類濃度を示す。

(注3) 事務所から排出された一般廃棄物は、全量再生利用。

(注4) 中間処理後の産業廃棄物リサイクル率は、処理後の搬出した量の最終処分場行きと再生利用行きの割合で算出。

(注5) 解体工事に伴う廃棄物再資源化率は、再資源化量と最終処分量の割合で算出。

12. 環境負荷量の実績



本社



車両基地



伊奈平工場



入間工場



瑞穂積保



あきる野積保

	全事業所	本社	車両基地	伊奈平工場	入間工場	瑞穂積替 保管施設	あきる野積 替保管施設	解体部門
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂) 【注1】	2,069,158	153,174	632,213	984,497	248,807	31,806	13,412	5,248
割合 (%)	100.0%	7.4%	30.6%	47.6%	12.0%	1.5%	0.6%	0.3%
電力使用量 (kWh)	1,834,393	29,222	23,246	1,322,400	446,559	7,587	5,379	—
割合 (%)	100.0%	1.6%	1.3%	72.1%	24.3%	0.4%	0.3%	0.0%
LPG使用量 (kg)	188	56	10	94	28	—	—	—
割合 (%)	100.0%	29.9%	5.2%	49.8%	15.1%	0.0%	0.0%	0.0%
軽油使用量 (ℓ)	478,273	54,151	240,933	148,265	17,650	10,990	4,250	2,034
割合 (%)	100.0%	11.3%	50.4%	31.0%	3.7%	2.3%	0.9%	0.4%
水道水使用量 (m ³)	2,996	607	973	795	579	—	42	—
割合 (%)	100.0%	20.3%	32.5%	26.5%	19.3%	0.0%	1.4%	0.0%
中間処理後における 産業廃棄物 最終処分場搬出量 (t)	2,031.44	—	—	2,031.44	—	—	—	—
割合 (%)	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
解体工事に伴う 産業廃棄物 最終処分場量 (t)	34.29	—	—	—	—	—	—	34.29
割合 (%)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

(注1) 購入電力のCO₂排出係数は、東京電力の0.455kg-CO₂/kWh(2018年度実績(2019年8月公表))を用いた。

13. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) 環境経営計画の取組結果とその評価

【取組期間：2023年4月～2024年3月】

環境目標	環境活動の具体的な取組	本社	車両基地	伊奈平工場	入間工場	瑞穂積保	あきる野積保	解体部門	
		取組結果の総点数・数値結果等							
取組の評価									
電気使用量の削減	照明の不必要な時・箇所を消灯	24点 ○	23点 ○	21点 ○	23点 ○	22点 ○	24点 ○		
	実施出来ていた。								
	空調の適温化	24点 ○	19点 ○	24点 ○	24点 ○	24点 ○	22点 ○		
	猛暑日の期間はエアコンの設定温度を下げ気味に設定していたが、適切な温度管理で実施出来ていた。								
	OA機器の不必要な時の電源OFF	24点 ○	24点 ○	24点 ○	24点 ○	24点 ○	18点 ○		
	実施出来ていた。								
	設備の空運転の防止			19点 ○	24点 ○				
実施出来ていた。									
空調機（フィルター等）の清掃					14点 △	19点 ○			
まだ実施されていない時がある。空調機の清掃は節電にも繋がるので、来年度も引き続き粘り強く教育・実施していく。									
環境負荷低減教育	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○		
全部署教育済み。									
数値評価	全事業所達成。全事業所で見ると、目標値より684,347kwh削減出来た。								
軽油使用量の削減	重機・車両のアイドリングストップ	14点 △	24点 ○	18点 ○	23点 ○	24点 ○	23点 ○	24点 ○	
	ほぼ実施出来ていた。								
	積み込み作業時のアイドリングストップ	24点 ○	24点 ○						
	実施出来ていた。								
	バックカー車の無駄まき抑制	24点 ○	24点 ○						
	実施出来ていた。								
	急発進・急停車の抑制	14点 △	24点 ○						
本社が実施出来ていない時もあった。意識した行動を心掛けるように努めていく。									
前年度車両燃費データと比較分析	18点 ○	13点 △							
低燃費運転を意識した運転をするように努めていく。									
環境負荷低減教育・エコ運転教育	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○		
全部署教育済み。									
数値評価	全事業所達成。全事業所で見ると、目標値より108,317ℓ削減出来た。								
水使用量の削減	散水時の節水			24点 ○	22点 ○	24点 ○	24点 ○	24点 ○	
	実施出来ていた。								
	洗車時の節水	24点 ○	10点 △	24点 ○	24点 ○	24点 ○	24点 ○		
ほぼ実施出来ていた。									
環境負荷低減の教育	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○		
全部署教育済み。									
数値評価	達成事業所は4カ所、未達成事業所は1カ所（車両基地：車両の汚れが気になっていた為、丁寧に洗車をするように支持した結果、使用量が増えてきたと考えられる。目標値の見直しを検討）。全事業所で見ると、目標値より755m ³ 削減出来た。								

環境目標	環境活動の具体的な取組	本社	車両基地	伊奈平工場	入間工場	瑞穂積保	あきる野積保	解体部門
		取組結果の総点数・数値結果等						
		取組の評価						
化学物質の管理(注1)	自主基準値5ng-TEQ/m ³ Nを維持			—				
		2023年12月6日より焼却炉休止の為、測定未実施。						
本業に関する環境配慮活動	製品の状態の確認			○	○			
	製品状態も特に問題なし。							
	製品納品先からのクレーム発生件数の0件維持			○	○			
	クレーム件数も0件で、特に問題なし。							
	設備・重機・車両の突発的故障を低減する	○	○	○	○	○	○	
全事業所達成。突発的故障が発生すると業務に支障が出る為、引き続き点検等を行い、しっかり維持管理に努めていく。								
設備・重機・車両の日常・定期点検の実施	24点 ○	19点 ○	23点 ○	21点 ○	16点 △	21点 ○		
全事業所ほぼ実施出来ていた。引き続き、設備・重機・車両をの延命化出来るように努めていく。								
各事業所、決められた目標件数以上の業務改善を行う	○	×	○	○	○	○		
目標値達成事業所は5カ所、未達成事業所は1カ所。来年度は全事業所が達成出来るように、業務改善を行っていく。								
廃棄物排出量の削減	各部署、決められた目標値以下のごみの排出量を維持・削減	×	○	○	○	×	×	
		目標値達成事業所は3カ所、未達成事業所は3カ所。全事業所で見ると、目標値より239kg削減出来ているが、全事業所が目標値を達成出来るように、再利用できる物は再利用して、ごみの排出量を低減するように努めていく。						
再資源化率の向上	中間処理後の産業廃棄物リサイクル率89%以上の達成			○				
	2023年度のリサイクル率は93.93%で、目標値達成。							
	リサイクル出来る廃棄物の選別状況の確認			22点 ○		18点 ○	23点 ○	24点 ○
	実施出来ていた。引き続き再資源化に努めていく。							
積込作業時のリサイクル出来る廃棄物の仕分け積込み状況の確認		24点 ○						
実施出来ていた。引き続き再資源化に努めていく。								
解体工事に伴う廃棄物再資源化率90%以上を維持							○	
2023年度のリソース化率は96.03%で、目標値達成。								

(注1) 伊奈平工場、焼却炉の排ガス中のダイオキシン類濃度を示す。

評価方法：【○】24点～17点：実施（達成）出来た

【△】16点～9点：実施（達成）がある程度出来た

【×】8～1点：実施（達成）出来なかった

(2) 次年度の取組内容

【取組期間：2024年4月～2025年3月】

環境経営目標	環境経営計画の具体的な取組	本社	車両基地	伊奈平工場	入間工場	瑞穂積保	あきる野積保	解体部門	進捗管理 及び記録
		大槻	松本	天沼	鈴木	神山	神山	天沼	
電気使用量の削減	照明の不必要な時・箇所を消灯	●	●	●	●	●	●		実施計画と実績 フォローシート
	空調の適温化	●	●	●	●	●	●		
	OA機器の不必要な時の電源OFF	●	●	●	●	●	●		
	設備の空運転の防止			●	●				
	空調機（フィルター等）の清掃					●	●		
	環境負荷低減の教育	●	●	●	●	●	●		教育記録
軽油使用量の削減	重機・車両のアイドリングストップ	●	●	●	●	●	●	●	実施計画と実績 フォローシート
	積込作業時のアイドリングストップ	●	●						
	バックカー車の無駄まき抑制	●	●						
	急発進・急停車の抑制	●	●						
	前年度の車両燃費データと比べた分析	●	●						
	環境負荷低減の教育・エコ運転の教育	●	●	●	●	●	●	●	教育記録
水使用量の削減	散水時の節水			●	●	●	●	●	実施計画と実績 フォローシート
	洗車時の節水	●	●	●	●	●	●		
	環境負荷低減の教育	●	●	●	●	●	●	●	教育記録
化学物質の管理 (注1)	自主基準値5ng-TEQ/ m ³ Nを維持			●					
本業に関する 環境配慮活動	製品の状態の確認			●	●				実施計画と実績 フォローシート
	製品納品先からのクレーム発生件数の0 件維持			●	●				
	設備・重機・車両の突発的故障を低減す る	●	●	●	●	●	●		実施計画と実績 フォローシート
	設備・重機・車両の日常・定期点検の実 施	●	●	●	●	●	●		
	各部署、決められた目標件数以上の業務 改善を行う	●	●	●	●	●	●		
廃棄物排出量の削減	各部署、決められた目標値以下のごみの 排出量を維持・削減	●	●	●	●	●	●		
再資源化率の向上	中間処理後の産業廃棄物リサイクル率 90%以上の達成			●					実施計画と実績 フォローシート
	リサイクル出来る廃棄物の選別状況の確 認			●		●	●	●	
	積込作業時のリサイクル出来る廃棄物の 仕分積込状況の確認		●						
	解体工事に伴う廃棄物再資源化率90% 以上を維持							●	

(注 1) 伊奈平工場、焼却炉の排ガス中のダイオキシン類濃度を示す。

※●は、環境活動の取組の実施を示す。

14. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

2023年度環境法規制その他要求事項一覧	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
許可を有している各市町村の廃棄物に関する条例	○
ダイオキシン類対策特別措置法	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	○
大気汚染防止	○
騒音規制法	○
振動規制法	○
悪臭防止法	○
消防法	○
火災予防条例	○
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	○
東京における自然の保護と回復に関する条例	○
東京都暴力団排除条例	○
特定家庭用機器再商品化法	○
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	○
貨物自動車運送事業法	○
貨物自動車運送事業輸送安全規則	○
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律	○
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	○
石綿障害予防規則	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	○

《 2023年度環境法規制その他要求事項一覧表 》を用いて、2024年3月30日に遵守状況を確認した結果、当社における法規制への違反はありませんでした。尚、これらの法規制に対する関係当局からの違反の指摘及び関連する訴訟等は過去3年間ありません。

15. 代表者による全体評価と見直しの結果

項目	社長指示事項	
代表者による全体評価	<p>今期の環境目標の実績結果を見ると、事業所から排出される廃棄物排出量は目標値より 239kg 削減できていますが、3 か所の事業所で目標値を達成できていません。廃棄物処理業者として、まずは廃棄物の排出量を減らすこと、再資源化できるように努めることを意識して下さい。</p> <p>エコアクション 21 の認証登録を受け、11 年が経過しましたが、マンネリ化しないように日々見直し等を行い、今後も引き続き従業員一人一人が、環境に配慮した自覚を持ち、行動をして下さい。</p>	
代表者による見直し	環境経営方針	現時点での見直しは不要とする
	環境経営目標	見直しを実施する
	環境経営計画	現時点での見直しは不要とする
	環境経営システム	現時点での見直しは不要とする
	実施体制	現時点での見直しは不要とする